



感動！合同研究・実践発表会

小雪の候、ことぶき大学の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

立冬が過ぎ、雪囲いも終わり、小春日和が何日かあって、さあ本格的な冬の始まり……という心の準備期間があってもいい。厚手のセーターにマフラー、両手をポケットに入れてちょっと本屋さんへ…午前中の本屋はお客が少なくてとてもいい…そんな日曜の始まりも学生時代にはありましたね……。

もう根雪なのでしょうね。ちょっと早い気もしますが、屋根からの落雪、見通しの悪い交差点、アイスバーンの歩道では特に気をつけて！転んでは大変です！

インフルエンザや風邪には十二分に留意し、換気を良くし、湿度を保つためにもこれからは鍋物でしょうか…美味しいものを適量に、運動は無理をせず、しかし欠かさず、本も読み、映画や音楽を楽しみ、近所付き合いやことぶき大学の仲間との電話やメールだけではなく、直接会っておしゃべりを楽しむこと、勿論、夫や妻には優しい言葉も忘れず、たまにはもので気持ちを伝えることを決して忘れない……そんな人に私はなりたい…というところでしょうか。

感動！感銘！感謝！感激！令和元年度の合同主張・研究・実践発表交流会は、とても素晴らしい発表でした。一つ一つの発表がとても洗練されており、充実した内容だったということです。午後まで続いた10種目の研究発表すべてに、近内学長からの高い評価の講評もいただきました。

この綴りの後半に特集を組みましたので、皆さんの研究及び実践発表について、振り返ってみたいと思います。ことぶき大学の皆さんは凄い！！そんな皆さんを誇りに思っています。皆さんお疲れ様でした。

11月27日(水曜日)

◎学生自治会から

- ①お楽しみ忘年会 お弁当・出し物
(本日提出)
- ②新年お楽しみ会 2020
弁当の取りまとめ (12.4 提出)
- ③新年度の役員を選出 (2020.1.22 提出)

8時30分 当番 本科1年生 大会議室

8時50分 大ホール集合
「いじめ防止標語」の表彰

9時00分 第13回富良野市
「子ども未来づくりフォーラム」

11時30分 終了予定

11時50分 昼食・休憩

12時50分 講座準備

TODAY'S SCHEDULE

13時00分 「震災の社会学」二校合同
旭川大学准教授 大野 剛志先生

15時00分 終了 全員で後片付け
山部・東山バス出発

こども未来づくりフォーラムの終了予定が、11時30分です。午後の講座は、13時からですので、いつもより長い昼休みになります。

山部校の皆さん方は、大会議室で昼食をおとりください。なお、昼食中、大会議室にて講座の準備に入りますのでご協力をお願いします。

講座名が「震災の社会学」です。私たちはどう心の準備をしているのか、いざというときに何ができるのか、日々の生き方が根本的に問われているということです。

Next Schedule

12月4日(水曜日)

- 8時45分 当番 本科2年生
9時15分 朝の集い
10時00分 クラブ学習日 ⑩
「卒業作品展の制作」に向けて
12時00分 昼食・休憩
山部校の皆さんは、大会議室にて昼食をおとりください。
13時00分 バス2台に乗り合わせて緑峰高校
(文化会館発) へ出発します。
1号車 12:30 発: 山部クラブ→13時着
13:00 発: 文化会館
2号車 13:00 発: 文化会館
13時10分 富良野緑峰高校着
「令和元年度 課題研究3 学科合同発表会」
15時10分 終了
15時20分 両校ともバス乗車
文化会館経由で山部、東山へ
(解散)

連絡です!

卒業式の日程が3月18日(水)に変更になります。

3月12日(木曜日)を予定しております「令和元年度の卒業式」ですが、閉校を迎えた山部中学校の最後の卒業式と重なるため、**ことぶき大学卒業式を3月18日(水)に変更**します。来賓、関係者などを含め、ことぶき大学富良野校・山部校の皆さん方にも出席を予定されている方もいらっしゃると思います。何卒ご理解とご協力をお願いします。

特集 合同主張実践発表交流

「ふらの演劇祭」・「三市町芸能発表交流会」・「市民総合文化祭」に引き続き、この「主張・研究・実践発表交流会」の開催でした。学年別研究・クラブ学習・同好会活動と、すべては繋がっていますので、気を抜けない日々が続いていたということです。

今回の、この発表交流会は、その集大成ということです。

一週間開催した「作品展」も、実に見ごたえのある素晴らしいものでした。また、午後の時間まで続いた研究発表は、個人主張が1つ、学校・学年・クラブ研究が9つありました。

クラブ学習 ⑩

クラブ学習は、一年間で12回実施されます。2月19日(水)が講師の先生とのお食事会ですから今日を含め、あと3回です。

卒業に向けての作品づくりの準備もよろしくをお願いします。

令和元年度

課題研究3 学科合同発表会

例年2月に行われておりました緑峰高校との交流学习会でしたが、今年度から新しい取り組みとして「課題研究3 学科合同発表会」を参観することになりました。

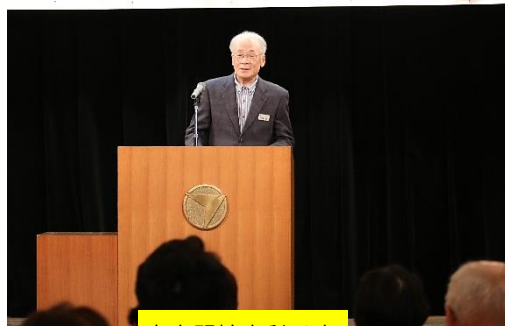
駐車場の関係で、**全員バスでの往復移動**となります。ご協力ください。

また、**上履きも各自ご準備**ください。

なお、山部クラブの皆さんは、バスが、12時30分生涯学習センター前を出発しますので、それまでに昼食をおとりいただき、文化会館経由で緑峰高校まで行きます。



とぶき大学 主張・実践発表交流会



富良野校本科 4 年

「ことぶき大学 4 年間の考察」と題し、富良野校本科 4 年の平澤さんの主張発表からスタートしました。

「私たちは、なぜ学ぶのか、何を学ぶのか」ということについて旭川市の高齢者大学を例にあげ、「学びとは、内なる自然の欲求ではないか」ということに触れられていたように感じました。

続いて、学年別研究発表一番目は、富良野校本科 2 年生の「研ブリッジ II」…

「それでは、研ブリッジ II 号が文化会館を出発します。」原さんのガイドから始まった川や橋、今回は、市街の麓郷地区、川の流れや橋の周りの景色までもが入った名ガイドでした。

「すべて手づくり」の発表、きっと当日の朝まで、熱心に説明用の原稿を書き上げていただろう原さんの思いも一杯つまった感動的な発表となりました。お疲れさまでした。



富良野校本科 2 年



「富良野市の神社について」、本科 1 年生にとっては初めての研究発表でした。発表の二日前にリハーサルを全員で行いました。昼食を挟みながら 4 時間も 5 時間も話し合いを持ちました。

資料を準備しながら「どこまで発表しようか？」と考え続けた千葉さん、パソコン画面に合わせてどう原稿を手直ししようかと考え込んでいた宮西さん、それをどう支えようかと悩む本科 1 年生の皆さんがそこにいます。きっと次の発表の方向性も感じている本科 1 年生の取組でした。

本科 4 年生は、「ふらの 50 年のあゆみ」と題し、富良野市民であれば「これだけは押さえておきたいこと」を丁寧に説明いただきました。へそ祭り、ワインやぶどう果汁、チーズ、ゴミの分別



富良野校本科 1 年

富良野スキー場、北の国から、マルシェ 演劇にと……

これから私たち市民がどう富良野の街を育てていくかを問う発表でもありました。



富良野校本科 4 年

続いて、山部校の研究発表「山部小中学校の歴史」は、なつかしい小学校時代、中学校時代の思い出が詰まった発表でした。

12 月に山部中学校の閉校式があり、



山部校



富良野校本科3年



3月12日が最後の卒業式ということです。達磨式石炭ストーブ、暖房のない寒い体育館、部活動、仲間たちとの思い出…物はなくても、おいしいものが少なくても、そんなの当たり前、みんな元気で楽しんでいた…そんな時代を生きてきた大切な思い出…モノクロームの世界、子ども時代の思い出、会場にいる参加者全員の心に響く発表でした。

続いて、「縄文文化と富良野の遺跡」本科3年生の発表でした。

「上川管内高齢者学びのつどい」の名寄大会での発表ですが、ことぶき大学内での発表は、勿論初めてです。大きな大会での発表経験がありますので、余裕をもった発表でした。

さて、次回はどんな発表になるのでしょうか。



富良野校大学院2年、1年



足を使い、頭を使い、犬上さんの未知なるものへの追求には妥協はありません。伊藤さん、池田さんも遅れないように…これからも楽しみにしています。よろしくお祈りします。

続いて、「新・富良野風景 ～ことぶき編～」は、大学院2・1年生の共同研究でした。今年の春からテーマに向けての取組がスタートされておりましたので、富良野の風景「春」のカットもたくさんありました。写真を「写心」と表現した文章に触れることがあります。同じ被写体でも人によってシャッターを切るか否かはカメラを持つ人の気持ち次第ということです。

一枚一枚の写真に、若き時代の熱い思い出がたくさん詰まったコメントはさすがです。経験豊富な大学院2年生と1年生の特色は、何ととっても活発で行動的です。取り組み方も早いですね。



山部校、山部クラブ

富良野市ことぶき大学 主張・実践発表交流会



午後の研究発表のトップは、山部クラブの「ファッションショー」でした。山部校大学院2年の荒田さんがデザインしたということで超感激！出演された方々は、パリコレのモデルさんと気持ちは同じです。エスコートする男性はミラノ風！決まっていた。お化粧ばっちり、どんどんおしゃべりしてコミュニケーションを積極的に図りましょう。エコの時代にふさわしい「知恵と工夫のおしゃべり！！」 私たちことぶき大学の合言葉「より魅力的に生きる」に直結するものですね。

続いて、富良野校研究生の発表「学年別研究7年間の足跡」は、「食」から始まりました。入学時13名が一つにまとまるのは、やはり「食べること」から始まる。これは定石・定跡なのでしょう。徹底したこだわりの研究、そして豊富な資料と表現力、研究生の知的好奇心に脱帽です。パソコンを自由に使いこなす藤野さん、完成度が非常に高い、レベルが凄く高～いですね。

富良野校研究生



研究発表最後は、第2研究生の皆さん方です。三市町芸能発表交流会の時の演劇とは多少違ってはいましたが、何回見ても新鮮です。いつも初めて観るような感覚です。とことんまじめで誠実で一生懸命な皆さんの姿に感動します。この演劇は、私の尊敬するチャールズ・チャップリンの作品を観ている感覚です。とことん真面目に生きる姿に、私たちは感動するものです。

第2研究生の皆さんに感謝です。感動をありがとうございました。

いつもより発表数も多く、内容もとても充実した完成度の高いものとなりました。それぞれの学年が自覚と責任をもって準備を進めているということです。



富良野校第2研究生



講評：近内学長

とぶき大学 主張・実践

10の研究発表が終了後、近内学長からの講評がありました。一つ一つに対する講評は大変うれしいものです。

正に、ことぶき大学の努力目標

- 一つ 自ら考える学習と行動
- 一つ あたえられた幸せより 自ら築く幸せの学習
- 一つ 自分たちの幸せを他の人々に広げる行動
- 一つ 知識と経験の交換による学習

に直結するものではないでしょうか。

さて、続く実践発表も、大変見ごたえのある、聞きごたえのあるものとなりました。スタートは、山部校「吟舞」です。

山部校



富良野校・山部校合同
スコップ三味線同好会



山部校「吟舞」は、ことぶき大学卒業生の松浦哲夫さんによる「吟詩」に合わせて舞うというものです。時間は3分ほどと短いのですが、詩に込められた思いを短時間に表現するのですから、心身ともにパワーとエネルギーが必要だということです。気力と体力と集中力は、日頃からの修養からくるものなのです。奥が大変深い古典芸能です。山部校の定番ですね。

続くスコップ三味線は、演奏するごとに上達していることが分かります。皆さん、かなり余裕すら感じさせます。場数を踏んだスコップ三味線はもうプロ級！バチを持つ手のスナップが効いており、実に滑らかです。アンコールも定着！？したようです。

実践発表会のトリは、恒例の山部校女性による「北海盆踊り」です。会場の皆さんと一緒に踊りました。

令和元年度の発表交流会は、大変楽しく感動的なものでした。皆さん大変お疲れさまでした。



ちょっと一休
みして…

これからの
こと…雑記

まもなく12月、もう師走です。いつものことながら月日の経つのは本当に早いものですね。

今年は、“「太宰作品の魅力」に触れる”ということで、第2研究生の今さんが、興味を持ち「人間失格」「斜陽」は勿論のこと、太宰の作品を楽しんでいるとのこと。私もうれしくなります。もしかすると、今さんのシナリオづくりの参考にもなっているのかも知れません。いいですね。この通信で、太宰の作品「キリギリス」から一部引用したことがありました。

「(前略)貧乏になればなるほど、私はぞくぞく、へんに嬉しく、質屋にも、古本屋にも、遠い思い出の故郷のような懐かしさを感じました。お金の無い時の食事ほど楽しくて、おいしいのですもの。つぎつぎに私は、いいお料理を、発明したでしょう？いまは、ため。なんでも欲しいものを買えると思えば、何の空想も湧いて来ません。市場へ出掛けてみても私は、虚無です。よその叔母さんたちの買うものを、私も同じ様にして帰るだけです。あなたが急にお偉くなって、あの淀橋のアパートを引き上げ、この三鷹の家に住むようになってからは、楽しい事が、なんにもなくなりました。私の、腕の振るいどころが無くなりました。あなたは、急にお口も上手になって、私を一そう大事にして下さいましたが、私は自身が何だか飼い猫のように思われて、いつも困って居りました。私は、あなたを、この世で立身なさるおかたとは思わなかったのです。死ぬまで貧乏で、わがまま勝手な画ばかり描いて、世の中の人みんなに嘲笑せられて、けれども平気で誰にも頭を下げず、たまには好きなお酒を飲んで一生、俗世間に汚されずに過ごして行くお方だとばかり思っていました。私は、ばかだったのでしょうか。でも、ひとりくらいは、この世に、そんな美しい人がいる筈だ、と私は、あの頃も、いまもお信じて居ります(後略)」

太宰の作品の魅力は、短編で読みやすいことも事実ですが、女性の目線にたった作品がとても多いのが印象的です。それは、女性の生き方が社会を作り出していると太宰は言いたいのでしょうか。便利な生活ほど退屈、生きる不安が生きる力を生み、悩む力が生きる力を育てていることに気づくのは、女性である。時代が変わっても不変的で大切なものに男性が早く気づくと太宰は言っているのかと思ったりして…太宰の作品から、太宰の本質的な魅力を探ることは難しい……